

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	デッサン	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア (人間系)
								必修・選択	選択 (E群)
使用教材	教科書	(学校設定科目につきなし)							
	副教材	課題毎のプリント、スケッチブック							

学習目標

対象をしっかり観察し、描くことを通して自分の目を鍛える。基礎的な形の取り方を鍛え、自己表現の実現につなげる。
 デッサンの意義を理解し自分の手で表現することができる楽しさ、難しさを感じ、自分らしい表現を探究する。
 対象物のイメージや空間を把握する観察力を身に付けることにより、自己実現体験を増やした美的体感を豊かにする機会を設けることで、美術を愛好する心情を育てる。

学習方法

- ・鉛筆の削り方、鉛筆の使い方、木炭の使い方など様々な素材の基礎的な表現方法を学ぶ。
- ・様々な素材の特性を学び、理解して表現に役立てる。また、構図を考えバランス感覚を探り、作品制作する。
- ・作品を展示、鑑賞し意見を言い合い、それぞれの作品の魅力をより深く味わう。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりとごとの下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間制作に打ち込んでいるか。 ・最後まで諦めずに作品の完成度を高めているか。 ・技術を身につける努力をしているか。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題テーマに対し、自己表現、表現方法を探究しているか。 ・参考資料の活用。 ・課題テーマに対しての資料集め。
③技能	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な技能や工夫。
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し考察、探求する能力。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
課題の取り組み方	◎	◎	○	◎	
各課題提出	○	◎	◎	○	
作品の完成度	◎	◎	◎	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです
 ※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

自分が持っている感性を信じ、向上心を持って制作する。
 失敗を恐れずに、諦めず制作すること。
 ただ手を動かす作業としてではなく、考えながら表現活動をする制作活動として授業に取り組むこと。
 作品のうまい下手ではなく、基礎的な学習を通して、しっかりと知識、技能を身に付け辛抱強くコツコツ「ていねい」に進めることが大切。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆オリエンテーション(1時間) ◆鉛筆デッサン(24時間) <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の削り方 ・鉛筆の使い方 ・表現方法について ・基礎デッサン正立方体と球体 ・デッサンによる表現について ・静物デッサン ・展示 	デッサンを基礎から習熟することによって対象をしっかり観察し、よく考え、発見し、粘り強く表現する過程において描写力や表現力の向上を図る。	[学習方法] <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業について ・正しい鉛筆の削り方、使い方を練習 ・明暗の表現方法について ・遠近法について ・明暗と遠近法の練習 ・基礎形態を使用したデッサンの練習 ・質感、量感などの表現の描き分け方 ・モチーフ2～3点の配置によるデッサン [評価方法] 制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。
2 学期 30単位時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆木炭デッサン(8時間) <ul style="list-style-type: none"> ・木炭の使い方 ・基本デッサン立方体 ・展示 ◆石膏デッサン(21時間) <ul style="list-style-type: none"> ・石膏像をB1サイズの木炭紙に木炭デッサンする。 ・展示 	木炭デッサンは、木炭の柔らかく伸びやすい特徴を活かして、消したり描いたりを繰り返すことにより、同じ黒色でも微妙な色合いの差異を表現することができる。白い石膏像をモチーフに選ぶことで、色彩に惑わされず形の表現を学ぶことができる。明暗をしっかり観察し立体感のある表現を工夫したい。	[学習方法] <ul style="list-style-type: none"> ・木炭の芯抜き等、その他用具の使い方 ・簡単なモチーフを描く ・明暗表現を駆使する ・石膏の胸像を木炭デッサンする。 ・大きなモチーフを大きな紙に描く練習 ・形の取り方、細部の描き込みまで時間をかけてモチーフと向かい合う。 [評価方法] 制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。
3 学期 18単位時間	<ul style="list-style-type: none"> ◆3年間使ったもの(16間) <ul style="list-style-type: none"> ・パステルの特性、使い方 ・素材選び ・制作 ・展示 	1年を通して学んできた基本的な形の描き方を活かし、3年間愛用してきた思い入れのある気持ちをパステルを用いて表現する。	[学習方法] <ul style="list-style-type: none"> ・パステルの表現を学ぶ ・3年間高校生活で使ってきた身近な物をデッサンする。 ・パステルの特性を活かし表現方法を探求する。 [評価方法] 制作への取り組みや完成した作品を四つの観点に基づき評価する。